

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域環境保全と権現山歩道整備事業
事業主体 (連絡先)	西春近自治協議会 (伊那市役所西春近支所内 西春近自治協議会事務局 0265-72-4178)
事業区分	⑤環境保全。景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	582,400円 (うち支援金: 435,000円)

事業内容

自分達の地域は自分達の手で、との思いから地域を挙げて権現山歩道整備や天竜川河川敷の整備、集落内の環境整備や外来植物の駆除を実施。

桜の里等を「森の里親促進事業」として東京都立北園高等学校の生徒と共に実施し、山間部と都市間交流を図り、森林の持つCO2削減や間伐の意義等を学習してもらおう。また、「みどりの少年団」活動事業として間伐体験や年輪の見方やコースター作りを指導する。また、参加したくても道具の無い地域住民が積極的に参加出来るようにこの事業を実施した。



【7月17日整備作業の様子】

【目標・ねらい】

- ① 自分達の地域は自分達の手で
- ② 道具のない世帯も参加し易く
- ③ 地域ぐるみの一体感の醸成
- ④ 次世代育成に繋げる活動

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

全て地区住民のボランティアにより活動しているが、近年ボランティアに参加する意思はあっても道具が無いため参加を躊躇する状況が多々あった。草刈りや藪切り用の厚鎌と枝打ち用の鋸を用意し、環境整備事業や権現山歩道整備事業へ積極的な参加が得られるようになった。森の里親促進事業では都立北園高等学校の生徒や、みどりの少年団の体験活動等を通じ都市と地方の交流や森林の持つCO2削減効果や間伐の意義等を身を以て体験できた。間伐材でペン立やコースター・ネーム等の工作も指導し、次世代の林業後継者育成にも繋がった。

※自己評価 【B】

【理由】 7月17日開催の権現山登山道整備と桜の里整備事業も例年120名前後の参加者であったが、本年は道具が揃ったことにより180名が参加した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域住民が主体的に道路沿いの草木の刈り払いや、外来植物の駆除、天竜川河川敷内の樹木の刈り払いや地域内の小河川の清掃等環境整備事業に活用し、また都会の高校生の森林整備体験やみどりの少年団の林業体験等に有効に利活用して行きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある